

令和2年度 第1回児童センター運営懇談会議事録

令和2年度第1回児童センター運営懇談会は、新型コロナウイルス感染予防対策として、対面方式の会議を開催せず、書面のやりとりを通して意見と回答を交換する形の会議（書面会議）として行った。

1 会議の流れ

資料送付 令和2年6月16日

意見提出期限 令和2年7月6日

議事録作成 令和2年7月28日

2 出席者

石橋委員長、坂野委員、田中委員、岡田委員、小神委員、高倉委員、伊藤委員、小泉委員、菊地委員、三代川委員

3 議題

- 1 東野児童センター令和元年度事業報告
- 2 東野児童センター令和2年度事業計画
- 3 高洲児童センター令和元年度事業報告
- 4 高洲児童センター令和2年度事業計画
- 5 来館者数推移
- 6 その他

令和2年度第1回児童センター運営懇談会

意見・質問及び回答一覧

- 1 東野児童センター令和元年度事業報告
- 2 東野児童センター令和2年度事業計画
- 3 高洲児童センター令和元年度事業報告
- 4 高洲児童センター令和2年度事業計画
- 5 来館者数推移
- 6 その他

1 東野児童センター令和元年度事業報告

	意見・質問等	回答
1	令和元年度東野児童センターキッズスタッフは何人くらい活動していましたか。その構成比は。参加状況もあわせてお願いします。	キッズスタッフのメンバーは 13 人在籍。内訳は小3：1人、小4：4人、小5：3人、小6：3人、中1：2人、構成比は小3：7.7%、小4：30.7%、小5：23.1%、小6：23.1%、中1：15.4%となっています。月に2回主に土曜日に活動をし、出席率は毎回90%です。子ども達はとても意欲的に活動に参加し、頑張ってくれていました。
2	写真が無かったので仕方のない事なのですが、JDCピック、夕焼けタイム、科学工作（塩を使ったおもしろ実験）の内容に非常に興味が湧きました。	「JDC ピック」はニチレクボール（直径 7 cmの柔らかい赤と青のボール）を使用し、個人やチームで対戦や的当て等の競技を行いました。「塩を使ったおもしろ実験」は塩を使い、浮力の確認や砂糖との比較などを実験し、石鹼水と混ぜると固まるという性質を利用して手作り石鹼を作りお土産としました。「夕焼けタイム」は春休みの土日、4：30 から在館の子どもたちとスタッフで大縄跳び、浦安舞をしてさよならをするというものでした。写真や動画があったので、お見せできずに残念です。

2 東野児童センター令和2年度事業計画

	意見・質問等	回答
3	親子サークルやよちよちクラブなど定期の登録制サークルが入っていませんが、新型コロナの関係で今年は難しいのでしょうか。	コロナの影響で事業は中止しておりましたが新しい生活様式を取り入れた環境で、6月より登録制、事前予約制の親子事業を開催しています。
4	おやこの広場ほこほこも同様でしょうか。	「おやこの広場ほこほこ」は、6月まで休止していましたが、7月より当日予約制、午前、午後1日2部制の定員5組で活動を再開しています。

3 高洲児童センター令和元年度事業報告

	意見・質問等	回答
5	令和元年度高洲児童センターわんぱくキッズ参加者は何人ですか。上記同様構成比は。参加状況もお願いします。	わんぱくキッズのメンバーは13人在籍。内訳は小2:5人、小3:3人、小4:5人 構成比は小2:38.5%、小3:23%、小4:38.5%、月に1回主に土曜日に活動をし、出席率は42%となっています。登録のみで参加がほぼなかったお子さんが4人いました。予想される理由としては、・登録はしたが、習い事や家庭の予定があった(事前に活動の曜日や時間・予定を説明し、了承を得て登録している)・友達に誘われて登録だけした、などが考えられます。

4 高洲児童センター令和2年度事業計画、5 来館者数推移 意見・質問なし

6 その他

	意見・質問等	回答
6	児童センターは、子どもたちにとって、家庭や学校以外の貴重な居場所となっていると感じています。直接触れ合うなど、生のリアルな関係が作りづらくなっていることと思いますが、どのような工夫を考えていますか。	子どもたちがこれまでどおり児童センターを居場所として感じられるよう、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保などの対策をとりながら、再会や成長を喜ぶ声かけをしたり、これまでの過ごし方を聞いたりするなど、コミュニケーションを図ることを心がけています。
7	児童センターに立ち寄り、スタッフとしたしくなってから育児相談をする、というようなタイプの子育て中ママの相談場所がコロナ自粛期間あったかどうか気がかりです。気楽にアクセスできるホットライン的なものはありましたか。今後リモート(双方向性)で子育て相談や主催事業の開催も考慮されていますか。	休館中は、子育て中のママからたびたび電話で相談があり、保育士が親身になって相談に乗っていました。また、市のHPやケーブルテレビで、リモートではありませんが、親子や家族で楽しめるようにゲームや工作などを「ステイホーム!コロナにまけずにおうちであそぼう!」と表して4月20日から6月8日まで、毎週月曜日全7回アップしています。そして7月より開始した、千葉県助産師会主催「子育てオンラインお話し会」に手遊びで協力をしています。開館している中でリモートでの子育て相談は、人的確保が難しいと思われます。